

2023年8月23日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社
(東証プライム / 証券コード: 3762)

Java 対応テスト自動化ツール「Jtest 2023.1」の販売を開始 PCI DSS 4.0 や CWE ver.4.10 など 17 種類のセキュリティコンプライアンスに対応

テクマトリックス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:由利孝、以下「テクマトリックス」)は、米国 Parasoft Corporation(本社:米国カリフォルニア州、最高経営責任者:Elizabeth Kolawa、以下「Parasoft 社」)が開発した Java 対応テスト自動化ツール「Jtest 2023.1」(以下「Jtest」)の販売を 2023 年 8 月 23 日より開始します。

「Jtest」は、静的解析と単体テスト支援によって、Java ソースコードの品質可視化と単体テストの効率化を強力にサポートする Java 対応テスト自動化ツールです。静的解析では、コーディングルール解析とフロー解析という 2 種類の解析方法で、ソースコードに潜む問題点を指摘します。コーディングルール解析では、3,000 個超のルールでソースコードを検証し、プログラム中の問題の未然防止や保守性の向上を支援します。フロー解析では、クラスやパッケージを横断する膨大な数の処理フローの中から、リソースリーク、セキュリティ脆弱性などのバグの可能性が潜む特定のフローを検出します。単体テスト支援では、Java 単体テスト用オープンソースフレームワークである JUnit で利用可能なテストテンプレートやモックを自動作成し、単体テストにかかる工数を削減します。さらに、Web ブラウザー上でダッシュボード表示によるさまざまな情報提供が可能なレポート機能も装備しており、リモートワーク業務下においてもプロジェクトメンバー間で効率的なソースコードの品質レビューが行える環境を提供します。

このたびのバージョンアップでは、静的解析機能と単体テストアシスタント機能がそれぞれ強化されました。静的解析機能では、CWE(Common Weakness Enumeration)の ver.4.10 や CWE Top 25 2022 (+On the Cusp)、PCI DSS 4.0 といったセキュアな Java プログラムを作成するためのコーディングルールが追加され、プログラムがセキュリティコンプライアンスに即しているか、開発の早い段階から、確認できるようになりました。さらに、Android 用の Java ソースコードに対する静的解析が可能になりました。単体テストアシスタント機能では、カバレッジを増加させるテストケースの自動生成機能が追加されました。また、カバレッジ専用ツールの jtestcov が追加され、アプリケーションカバレッジの計測準備が大幅に簡略化されました。さらに、コードの変更の影響を受けるテストケースを自動検出するテスト影響分析機能追加され、テストの準備作業を効率化します。環境面では Visual Studio Code をサポートし、Visual Studio Code 上で静的解析結果の確認やカバレッジ結果の表示が可能になり、ユーザビリティが向上しました。

テクマトリックスは、Parasoft 社製品の国内総販売代理店として、Java ソフトウェア開発に携わるすべてのお客様の課題解決に最適なツールとして、Jtest の販売、マーケティング、ユーザーサポートなどの活動を強化してまいります。

【Jtest 2023.1 の新機能・改善点】

- ・ **CWE4.10 や OWASP ASVS 4.0.3 といったセキュリティコンプライアンスルールを追加**
ソフトウェアの脆弱性を識別するための共通脆弱性タイプ一覧である CWE (Common Weakness

Enumeration)の ver.4.10 や CWE Top 25 2022 (+On the Cusp)、PCI DSS 4.0、OWASP ASVS 4.0.3 といった 17 種類のセキュリティコンプライアンスに対応しました。

【Jtest のセキュリティコンプライアンス】

- CERT for Java
- CERT for Java Guidelines
- CWE 4.10
- CWE Top 25 2022
- CWE Top 25 2021
- CWE Top 25 + On the Cusp 2022
- CWE Top 25 + On the Cusp 2021
- DISA-ASD-STIG
- HIPAA
- OWASP API Security Top 10-2019
- OWASP ASVS 4.0.3
- OWASP Top 10-2021
- OWASP Top 10-2017
- PCI DSS 4.0
- PCI DSS 3.2
- UL 2900
- VVSG 2.0

※ セキュリティコンプライアンスルールによる解析には、セキュリティコンプライアンスパックオプション(別売)が必要です。

• Android 用の Java ソースコードに対する静的解析を追加

Android アプリケーションの Java ソースコードに対して、静的解析が行えるようになりました。Google Java Style Guide に基づいた Android 専用のテストコンフィギュレーション Android Guidelines に違反するコードを検出し、Android アプリケーションの Java ソースコードの可読性や保守性の向上品質向上に寄与します。

• カバレッジ機能を強化し、アプリケーションカバレッジの計測準備を大幅に簡略化

カバレッジ専用ツールの jtestcov が追加され、アプリケーションカバレッジの計測準備が大幅に簡略化されました。これまで、アプリケーション実行時のカバレッジ計測を実施することは可能でしたが、準備にいくつかの手順を踏む必要がありました。本バージョンでは、カバレッジ専用ツールの jtestcov が、アプリケーションのメタデータをスキャンし、必要なメタデータを取得することにより、カバレッジ計測の準備工程の多くが省略されました。さらに、このスキャンデータをもとに任意の時点のカバレッジレポートからソースコードの変更を検出し、再実行が必要なテストのリストを作成するテスト影響分析機能が追加されました。テストの質や量を確認できるアプリケーションカバレッジの計測作業の効率化と、カバレッジ率の高いテストケースリストの生成で、開発工数の削減とアプリケーションの品質向上に貢献します。

• 単体テストアシスタント機能を強化し、カバレッジを増加させるテストケースの作成が可能に

テストケースの一括作成時に、カバレッジを増加させるテストケースを作成する機能が追加されました。

※ テストケースの一括作成には、Unit Test Bulk Creation オプション(別売)が必要です。

- **SonarQube との連携を強化**

Parasoft Findings Plugin for SonarQube プラグインを SonarQube に設定することで、SonarQube 上で Jtest の静的解析結果の確認が可能になりました。

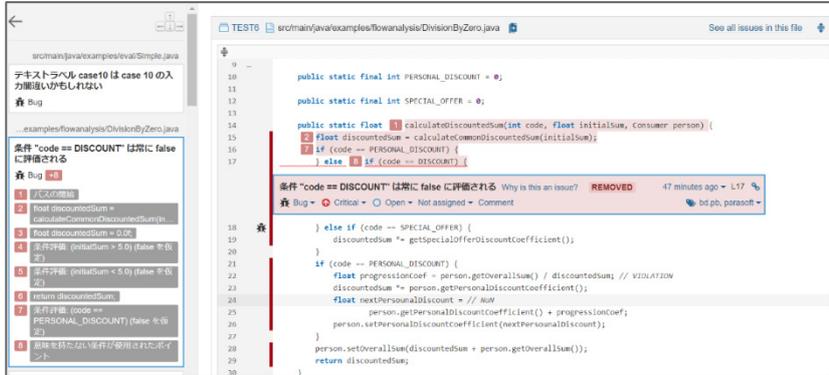


図 1: Parasoft Findings Plugin for SonarQube の画面イメージ

- **Visual Studio Code をサポート**

静的解析の実施および結果の確認、カバレッジ結果の表示の確認を Visual Studio Code 上で行えるようになりました。

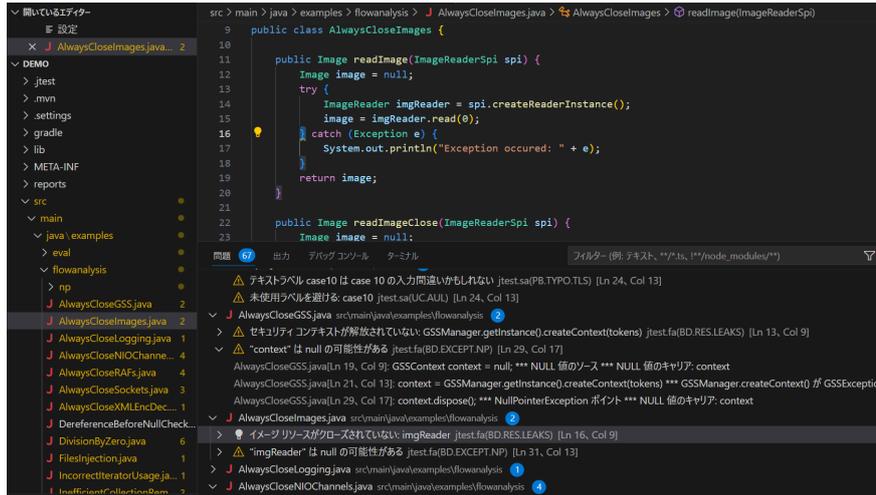


図 2: Visual Studio Code の静的解析結果の確認イメージ

【Parasoft DTP 2023.1 (レポート機能) の新機能・改善点】

- **コンプライアンスの遵守を促進するパッケージを更新**

CWE Compliance アーティファクトで CWE 4.10 がサポートされました。さらに、クレジットカード業界のセキュリティ基準の PCI DSS (Payment Card Industry Data Security Standard) の最新バージョンの PCI DSS 4.0 も追加されました。Jtest による静的解析の結果から CWE 4.10 や CWE Top 25 2022, PCI DSS 4.0 に則ったレポートをいつでも確認できます。ガイドラインの遵守状況の説明責任を果たすことが容易になるだけでなく、未遵守箇所を早期に特定し必要な措置を講ずることにより、セキュリティ上の欠陥のあるソフトウェアに関連するビジネスリスクを排除することが可能になりました。だけでなく、未遵守箇所を早期に特定し必要な措置を講ずることにより、セキュリティ上の欠陥のあるソフトウェアに関連するビジネスリスクを排除することが可能になりました。

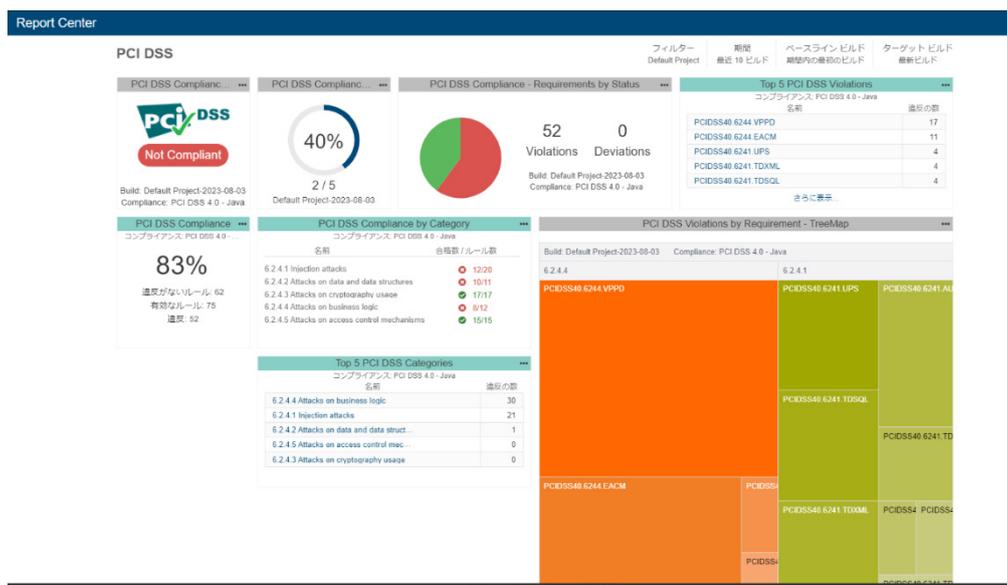


図 3: PCI DSS 用ダッシュボード

※本機能を利用するには、セキュリティコンプライアンスパックオプション(別売)が必要です。

- ・ **スタンドアロン ライセンスサーバーのリリース**

Jtest の付属製品として、軽量モデルの「スタンドアロン ライセンスサーバー 2022.2」を新たにリリースしました。インストールウィザード(Windows の場合)やインストールスクリプト(Linux の場合)の実行ではなく、zip 展開によるインストールが可能です。

Parasoft DTP とともに使用する場合、ライセンスサーバーは Parasoft DTP に内蔵されるライセンスサーバーを利用できます。ライセンスサーバーのみの用途においては、軽量なスタンドアロン ライセンスサーバーでライセンス管理をできるようになりました。

【稼働環境】

- ・ Windows 64bit
Windows 10、Windows 11、Windows Server 2022
- ・ Linux 64bit
Linux glibc 2.12 以上
- ・ プラグインできる統合開発環境
Eclipse 4.8~4.27、IntelliJ 2020.1~2023.1
- ・ プラグインできるビルドツール
Apache Maven 3.0.3~3.9.x、Gradle 3.3~7.6、Apache Ant 1.7~1.9.14
- ・ 解析対象の Java のサポート
Java 1.3~Java 17

製品の詳細は Web ページ <https://www.techmatrix.co.jp/product/jtest/> をご確認ください。

- ・ **販売開始日**
2023 年 8 月 23 日

- ・ 出荷開始予定日
2023年8月23日

2023年8月23日において、保守サービスをご契約いただいている Jtest のユーザー様には、「Jtest 2023.1」バージョンアップ製品を無償でご提供します。

■テクマトリックス株式会社について

テクマトリックス株式会社(東証プライム:3762)は、最先端の情報基盤技術のインテグレーションを提供する「情報基盤事業」、患者と医師、家族と地域社会を結ぶ医療環境づくりを目指す「医療システム事業」、蓄積されたノウハウを実装したアプリケーションの提供により顧客の課題解決を実現する「アプリケーション・サービス事業」の3事業を展開し、顧客企業のビジネスモデル変革と競争力の強化をサポートしています。

詳細は Web サイト: <https://www.techmatrix.co.jp/> をご参照ください。

■Parasoft Corporation について

Parasoft 社は、30年以上にわたり、ソフトウェアのバグがアプリケーションに混入する原因と仕組みを研究し、数々のソリューションを提供してきました。Parasoft 社のソリューションは、ソフトウェア開発ライフサイクルにおける継続可能なプロセスとして、品質改善活動を支援し、頑強なソースコードの実装、無駄がなく機能性の高いシステムの構築、安定したビジネスプロセスの実現を可能とします。数々の賞を受賞した Parasoft 社製品は、長年の研究成果と経験から得られたノウハウを自動化し、エンタープライズシステムから組み込みソフトウェアまで、どのようなタイプのソフトウェア開発においても、生産性向上と品質改善を実現します。Parasoft 社のコンサルティングサービスは、ツールでは解決できない問題の解決や開発プロセスの改善など、Parasoft 社の30年以上の経験を直接お客様に提供し、お客様の改善活動を支援します。

詳細は Web サイト: <https://www.parasoft.com/> をご参照ください。

<本件に関するお問い合わせ先>
テクマトリックス株式会社
ソフトウェアエンジニアリング事業部 Jtest 担当
E-mail : parasoft-info@techmatrix.co.jp
TEL : 03-4405-7853

*本原稿に記載されている社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。